



スマート物流サービス シンポジウム2020

「省力化・自動化に資する自動データ収集技術」 成果発表・社会実装マッチング

日時 令和2年11月6日 (金)

13:00~16:30 (受付開始12:30予定)

**参加費
無料**

会場 ビジョンセンター永田町

東京都千代田区永田町1-11-28 合人社東京永田町ビル8F

東京メトロ 有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅 (3番出口)」徒歩0分

プログラム

暫定版です。詳細が確定する都度、最新情報を <https://www.pari.go.jp/sip/> に掲載します。

13:00 開会挨拶など

13:10 SIP「スマート物流サービス」概要の紹介

田中 従雅 (プログラムディレクター)



13:30 基調講演

小野塚 征志 (株ローランド・ベルガー パートナー)

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修了後、富士総合研究所、みずほ情報総研を経て現職。
サプライチェーン/ロジスティクス分野を中心に、長期ビジョン、経営計画、成長戦略、新規事業開発、M&A戦略、
事業再構築、構造改革、リスクマネジメントなどをはじめとする多様なコンサルティングサービスを展開。
主著に『ロジスティクス4.0 - 物流の創造的革新』(日本経済新聞出版社) など。

14:10 成果発表・社会実装マッチング

- ・櫻井 将彦(Automagi株) 荷物サイズ・荷姿種別等判定に資する映像処理AI技術
- ・徐 剛(Kyoto Robotics株:佐川JV) 荷物データを自動収集できる自動荷降ろし技術
- ・内田 雄治(日本パレットレンタル株) 荷姿ラベルキャプチャー技術
- ・亀山 博史(グローリー株) 画像認識を用いた自動データ収集システム技術
- ・後平 佐保子(株ロジクエスト) 専属便の組み合わせ配送に向けたデータ収集技術
- ・村瀬 清一郎(東レ株) アンチコリジョン技術を用いた安価なタグ開発技術
- ・時任 静士(山形大) 衝撃・温度等計測可能な印刷型フレキシブルセンシングデバイス技術
- ・岡野 好伸(東京都市大) ケーブルアンテナ・棚アンテナ技術を用いた安価な情報収集技術

※会場内に各技術の現場導入をご希望・ご関心ある企業と研究開発チーム
毎のマッチング用スペースを設置 (利用時間: 13:00~16:30)

16:25 閉会挨拶

主催 SIPスマート物流サービス管理法
(国立研究開発法人 海上・港湾・航空
技術研究所 港湾空港技術研究所)

参加申し込み先 (sipsls-sympo@p.mpat.go.jp)
件名: スマート物流サービス シンポジウム2020参加申込
本文: 氏名、所属、メールアドレス をご記入下さい。

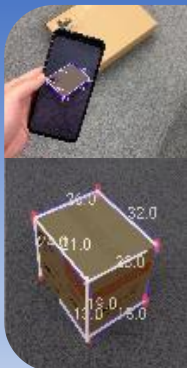
問い合わせ先 SIPスマート物流サービス管理法 担当: 西崎・畠山 (Tel: 03-6261-7283)
メールアドレス: sipsls-sympo@p.mpat.go.jp



「省力化・自動化に資する自動データ収集技術」 成果発表対象の技術一覧

～各技術の特徴・市場優位性・導入シーンなど～

Automagi



- スマホで非定形梱包も含む高度な荷物サイズ計測が可能。
- 利用者が独自にカスタマイズ可能（SDKの提供）。
- 物流現場での荷物情報データ収集の省力化に寄与。

佐川JV



- 高精度な画像認識と革新的把持による自動荷降ろし技術を開発。
- 同時に荷物・商品情報を取得し、検品レスを実現。

日本パレットレンタル



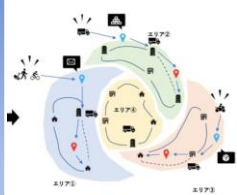
- 市販カメラをフォークリフトに搭載し、商品に添付されたQRコードを読み取り。
- 物流作業の省力化、トレーサビリティに寄与。

グローリー



- 物流車両・荷役状態の画像認識を通じて、効率的なバース運用の支援、荷役業務の時間短縮、省人化を実現。

ロジクエスト



- 積載量把握システム等の開発により、企業専属便と緊急便の組み合わせ配送を実現。

東レ



リーダー



自動認識タグ

- 半導体カーボンナノチューブを用いた自動認識タグを開発。
- 複数の自動認識タグを一括で読み取ることが可能なアンチコリジョン機能の原理確認を実施。

山形大



電子ペーパー

25 July 24 13

12:32 PM

宛名: 米沢太郎

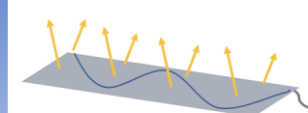
通信

センサ

薄型電池

- 印刷技術により薄型軽量フレキシブルな電子タグを開発。
- データ目視も可能であり、物流管理の課題を解決。

東京都市大



廉価な同軸ケーブルを加工し、ケーブルアンテナ・棚アンテナを形成

棚の上全体における近傍範囲を読み取る

- 棚の上に配置された商品の電子タグ情報を読み取る、廉価な棚アンテナを開発。
- 物流・在庫管理効率の改善、廃棄ロスの削減に寄与